

Ⅲ 教育計画

太良町立多良小学校 令和8年度 学校経営グランドデザイン

1 基本方針

教育のすべてを学びの場と捉え、様々な場面で自分の今できる力を発揮しながら成長できる児童の育成を目指す。

2 校訓 みつめあい 学びあい みがきあい

3 学校教育目標

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～本気・根気・勇気 で骨太の土台作り～

4 めざす姿



	重点目標	重点取組の内容
目指す子ども像の確かな実現	骨太の土台作り	○多良小学校教育のベースを整える ・教育活動のすべてを、児童にとっての学びの機会と捉え、児童の活動保障と“成長”“伸び”“変容”を実感させる手立ての確立を図る ・教師の資質向上（計画力、個別指導・支援力、協働力） ・家庭・地域・関係諸機関との連携強化
	学力の向上（かしこく）	○学習意欲を高め、“学びの習慣”を身に付ける ・自分の“成長”“伸び”“変容”を意識して、問題・課題に臨む。 ○言語理解力、言語表現力、言語感覚の向上 ・国語科中心としてすべての教科・領域で言語を意識し、自分の思いや考えを発言する場を多くする。 ・読書の取組の充実 ・川柳創作、新聞活用、朗読・アナウンス等様々なチャレンジ機会の活用。 ・外国語の授業（外国語科、外国語活動）の充実 ○教職員の授業力の向上 ・学力向上対策シートを活用（計画・実践・評価） ・「授業づくりのステップ123」の活用
	心の教育（やさしく） ※人権教育	○児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ・人権集会等の取組の充実と過去の研究成果を生かした道徳科の授業実践 ○いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ・いじめの早期発見・早期解決のためのマニュアル点検、「心のアンケート」の実施、実効性のある職員研修会の実施、相手意識を育てる ○児童が夢や目標を意識し、その実現に向けて自ら考えて取り組もうとするための教育活動 ・キャリア教育の充実 ○児童自身が、自分の良さや可能性を認識し、自己肯定感・有用感を育む教育活動 ・自分の良さを振り返る活動を取り入れる。出番・役割・承認・称賛
	健康・体づくり（たくましく）	○体育授業の充実（体） ○給食を軸にした食育の取組（食） ○児童の心身の成長を促す体育的行事の実施（体） ・運動会、なわとびチャレンジ、マラソンチャレンジ等
特別支援教育の充実		○教員の特別支援教育に対する専門性と意識の向上 ・個別支援、個別指導を必要とする児童の見極めと具体的方策 ○特別支援学級を中心とした特別支援教育の充実 ・障害特性からくる困難さに対応するための自立活動の充実と、学習課題に対する個別指導の充実による学習効果の向上
特別活動の充実		○各学級における学級活動（話し合い活動→実践・体験活動）の充実 ・学級会等で使用するグッズなどを全学級で統一し、共通実践と情報交換により充実した活動につなげる ○委員会活動の活性化 ・「振り返りカード」を用いた自己評価の充実と、児童のがんばりに対する正のフィードバックの可視化（お礼メッセージ等）
働きやすい職場環境づくり		○人間関係の質や質の更なる向上 ○目指す方向性や必要な情報の見える化・共有化 ○業務効率化の推進と適正な勤務時間の管理 ○業務の質の維持・向上 ○職場における危機管理意識の向上
情報公開		○学校のよさや取組の発信 ・学校ホームページに適時な学校情報の発信。「学校だより」「学級だより」による学校の取組・児童のがんばり・成長などの情報発信。